

二子あやむ(一)と宣ひ一時或人傍合の言なりと云く可き元
やと上しうをりやと上り借利の小判もあ有し老もあやむ
及延年跡はかゝも何事かさう括り予ら哀愁を籠蓋なりと
宣ひて二子あやむ(一)の事極く一皮も二子あやむ(一)と云

評曰日平該死を肉うやうも度大分量なるは哀愁を了つるやま
いんよかりわたりんさるやうもみなり

一寛永成之友太政大臣より政任に方院有 勅命被奉 国祥年
一仙洞は七も不侵を以進上と云

一寛永十二年月日江戸鞆一く地震せし
將軍様おすし一不致お清かりましや否の事と承知お人と若
すちくよと云る事を被り及又よひ感念もすしまこと宣ふ
やう八月身身物と地法く一孫子甲も若く遠居非常と後起り
侍るハ彼を制し孫子甲も若く立んとおるの事地震なりと云

なまき一余がまきと云き不勇士の業むあはさるや向後地震
之時ハ老差親味を多す可きお承り忠義たふし一若は公相育
蓋なき死を被り侍るを誅職を立立すし一く子孫も同
罪よお而孫子甲と云り侍る中法則之教多し侍る時お
うあやむ(一)果不中やあ人と云き被り遠慮大なる法則
を二ツ三ツの内ハこゝろをえはさる被り侍るなり

評曰是も亦不侵の事なり

一也(一)末教を言ふ事耳法人心外痛く侍るよ一さる及あはさ
るお承りし一は義入方莫太し費も未ぬる九等長はのあやむ
殿す(一)まゝ主役人な被り侍るしと云や
一久し不決所を法座中とて被り侍る及る

興

大綱
大綱
中綱

諸侯
諸侯

伊予中綱
伊予中綱
伊予中綱
伊予中綱
伊予中綱

之入る

以是代本之而

以是代本之而

右つゝまの居、形、京、討、馬、古、と、臣、柳、川、忠、高、古、の、中、分、獄、官、之、如、之、不、
そ、故、年、不、決、断、を、不、依、不、敢、之、見、法、事、を、さ、さ、せ、し、も、廣、事、
致、作、付、や、海、事、も、あ、は、故、さ、も、柳、川、は、輕、へ、流、罪、事、あり、因、右、
事、と、云、其、人、八、聖、十、三、の、よ、事、故、な、さ、し、り、也、以、格、一、あ、て、日、
平、心、中、之、對、心、閉、種、へ、さ、り、寔、は、格、末、代、及、て、有、へ、さ、り、な、れ、ハ、
曲、色、不、小、人、の、る、よ、ハ、能、破、な、り、寛、永、十、二、年、三、月、十、一、日、十、二、日、之、事、
一、儒、学、を、ん、り、宋、朝、元、朝、之、儒、者、制、作、之、書、籍、等、を、説、き、季、林、氏、
道、春、生、生、時、之、語、之、

右ハ甫菴翁孫少康復菴藏書

甲下那景衡識

天寶生才，每古今異邦。姪舍，吾女吏部之八斗於吾國，果吾之有之乎。一日於冷公書架上探得一斷策，凡七十版，尚逸其半。其書記元寶一樞貴之事，其郎妾所撰，全旨述郭况金穴之肖，而行文正鵠源泉二書，即策貴之同軌，抑亦武文之異轍，而能不失尺寸，可謂妙才。冷公與予奇嘆不已，頃復得一奇書於冷公，不過十數版，而全予與冷公拍几嘆，未曾有曰：佛欽仙欽，抑降冥之妙者欽。母寧吏部之降欽，蓋郎妾之作，即武文古今稱呼百爾之不同。其事勢頗亦近似。茲書記述今年七月信野二邦雨沙雨火雨泥雨毛山潰河湧邑衆烏有人畜物碎之夏地之源采擬倫霄壤而毫不失吏部體格神韻，豈非最難最奇之

筆哉但其騰寫敬轉字句可疑者數處予竊訂正冷公曰
野之高崎女子藤屋某氏所撰天實生才、古今宋人
謹說所謂避杭機雲沒後云、者非虐詆矣嗚呼如茲書
可謂真正才子未曾有之書云、

天明癸卯冬十月

播磨清絢書於靈岬邸曹金

天明三年卯の冬十月未だ九日ハ冬人降てそやみたり
を那紙母よりこのころやうにくけちるハ何なるんと
のふし扇形なるうけくえれを灰なり居て柳木
此葉ハあつてくまはあまたなるを信法のある
はうたをとりあるといれくさるるハ伊勢物鏡
あつていあき今もこのころのまを那れを人々
えなきくもるを毎月二日又降ちりしひを序
書のもくけえたる月紙はくあつたは
年れをくありとさるるをくあつたは
くあつたはのりみのくあつたはくあつたは
くあつたはのりみのくあつたはくあつたは

へてみきこむれ...
 のまへに内さばい...
 までとや海く...
 る内何らま又...
 白くともて...
 何れも社や...
 しみく雪の...
 ハ一帯も...
 何れも...
 交り...

とれき...
 の法...
 此...
 多く...
 んと...
 ひ...
 王...
 ひと...
 よ...
 を...

のまゝ又何れ〜一紙紙の黒く〜まゝな〜まゝのたうやう
よ〜後にはな〜し〜し〜たをみあぢあぢ〜
す〜は〜ら〜ら〜も〜あ〜く〜程あ〜も〜あ〜べ〜ら〜ら〜ら〜
て〜あ〜も〜ま〜な〜も〜何〜く〜あ〜ふ〜た〜ふ〜ま〜て〜梁〜の〜下〜ま〜か
ろ〜〜し〜し〜し〜し〜し〜あ〜い〜ま〜の〜程〜ま〜て〜け〜を〜あ〜い
非〜可〜い〜う〜も〜も〜あ〜ま〜ま〜た〜底〜の〜ま〜ま〜ま〜何〜く〜て〜海〜様
た〜る〜砂〜を〜か〜ま〜あ〜ま〜た〜黒〜烟〜あ〜う〜て〜す〜ま〜は〜し〜ま〜ま〜よ
ま〜ま〜れ〜〜〜か〜ま〜に〜何〜も〜も〜昔〜れ〜程〜ま〜に〜雨〜は〜程〜く〜も〜利
や〜み〜ま〜に〜ち〜後〜り〜う〜が〜人〜の〜業〜も〜程〜も〜皆〜ま〜く〜り〜ふ
程〜く〜た〜る〜を〜何〜や〜〜と〜も〜〜ん〜ま〜こ〜ひ〜ひ〜う〜〜し〜ら〜の〜ぬ
る〜な〜り〜来〜よ〜の〜何〜〜ま〜ま〜人〜も〜多〜く〜〜木〜田〜れ〜苗〜代〜り〜紀

あるまゝの〜て〜お〜け〜下〜り〜思〜い〜つ〜は〜う〜は〜や〜泥〜の〜ほ〜ま〜な
〜あ〜ま〜ま〜ん〜と〜あ〜ぢ〜あ〜ぢ〜の〜く〜こ〜は〜う〜り〜有〜て〜ま〜や〜み
ふ〜ま〜り〜柳〜を〜し〜い〜屋〜せ〜〜砂〜を〜新〜造〜し〜〜〜く〜な〜り
て〜し〜ら〜う〜の〜あ〜ま〜ま〜ん〜し〜も〜も〜程〜な〜れ〜い〜ま〜も〜し〜た〜程〜も〜い
ま〜る〜〜〜〜程〜ふ〜人〜の〜ま〜の〜あ〜ま〜ま〜ん〜ま〜ま〜を〜あ〜い〜ま〜な
〜り〜思〜ま〜る〜も〜ま〜ま〜て〜は〜程〜程〜れ〜目〜と〜合〜せ〜ね〜と〜人〜と〜夜
ま〜て〜し〜ま〜〜〜〜い〜ぬ〜た〜〜〜程〜て〜た〜ら〜に〜な〜り〜思〜や〜ん〜も
あ〜う〜ひ〜ぬ〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜
〜〜〜と〜〜〜く〜ら〜う〜け〜も〜ま〜ん〜た〜ま〜の〜小〜あ〜り〜た〜る〜程〜か
の〜ほ〜い〜ら〜ぬ〜ま〜ま〜ま〜は〜し〜い〜程〜も〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜
た〜る〜毛〜れ〜い〜ぬ〜ま〜ま〜ま〜平〜な〜ら〜ぬ〜程〜を〜人〜も〜何〜ま〜〜た〜ら〜う

おんを懐しよけ入とも母なれんせんす入あー少い存
とくある時よそとて綱をいふあを屋おたは抱さる子を
その中投入す何けく又いたは脊よあひたるも投りき
く女をゆき合せてさあさくく母もまたすりんと流
ぬをいし何ゆきあけりゆくに以る流てあけりて
おたは波の唇よあけさるゆき身を泥押す川も
あもいしゆきあけさるゆき身を泥押す川も
たしたく坤軸をいふゆきのくたけて世間てなは泥の
はなぬる時のまぬいんとさあさくく言もたまんをく揺
ぬけさるゆきいはけりあけりてあけりてあけりてあけり
男の表よ母と幼き子をさるゆきあけりてあけりてあけり
母とあび川中入りて母あをよとあをすてく子たを
めるとは呼ぶおたはをさびりゆきさるゆき母とびりけ
よのせ波をぬけてさくく成とあけよおけ
よく母の胎をさるゆきいさるゆきあけりてあけりてあけり
さあさくゆきのいさるゆきいさるゆきあけりてあけりてあけり
あけりてあけりてあけりてあけりてあけりてあけりてあけり
ちんちんさるゆきあけりてあけりてあけりてあけりてあけり
たぬさるゆきあけりてあけりてあけりてあけりてあけりてあけり
さるゆきのいさるゆきいさるゆきあけりてあけりてあけり
ひしんあけりてあけりてあけりてあけりてあけりてあけり